

令和元年度 福岡市の環境施策

令和2年 11月2日
福岡市環境審議会

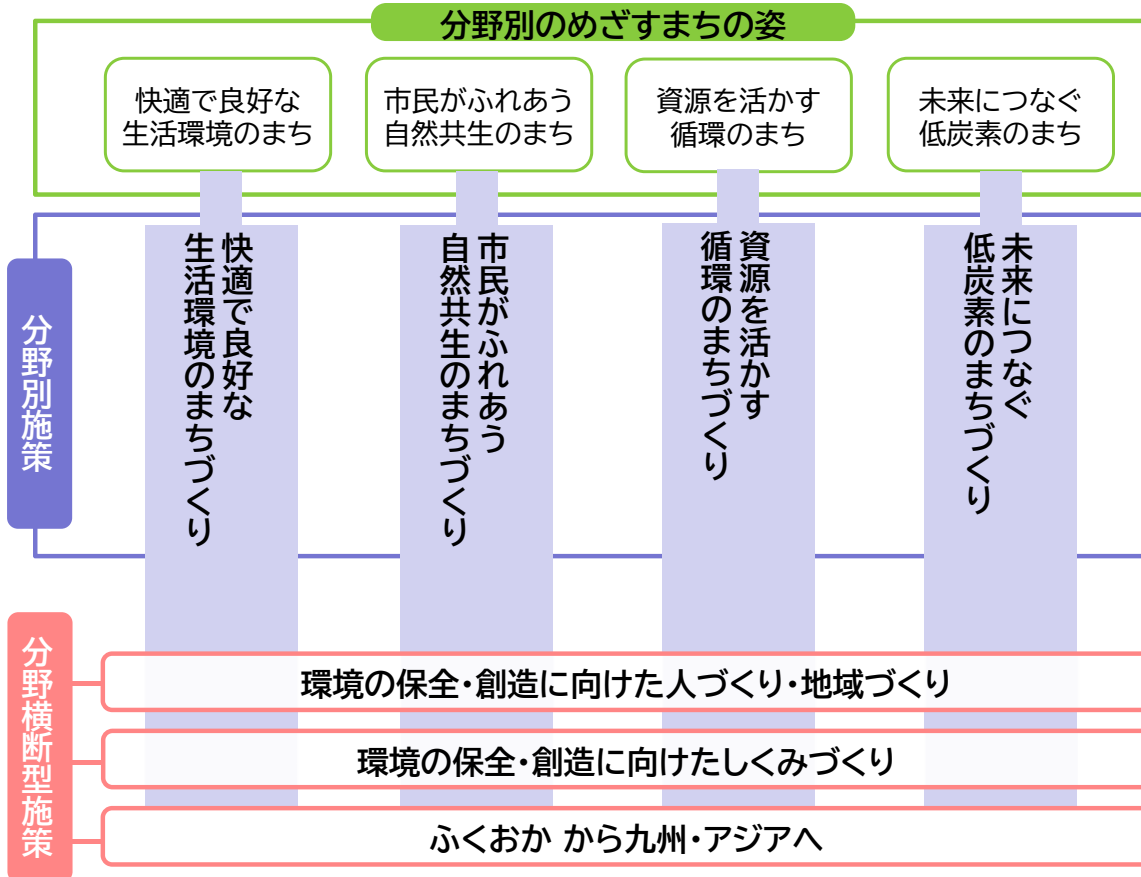


環境フェスティバルふくおか 2019



環境施策の全体像(福岡市環境基本計画)

めざすまちの姿 豊かな自然と歴史に生まれ、未来へのちつなぐまち



環境施策の進捗状況等に対する評価

○成果指標の達成状況の基準

A	目標値に向けたペースを達成している又は上回っている
B	目標値に向けたペースを下回っているが、指標は改善している又は現状維持
C	目標値に向けたペースを下回っており、指標が悪化している
-	数値が把握できないため判定不能

○総合評価の基準

成果指標のA=3点, B=2点, C=1点とし、各指標の平均点により評価する。

平均点	評価(基準)	
2.5以上	順調に進捗している	★★★
1.5以上2.5未満	概ね順調に進捗している	★★
1.5未満	進捗が遅れている	★

※特記事項を踏まえ、理由を明示した上で、平均点をベースとした評価(基準)からアップ又はダウンさせることもある。

○評価の一例

成果指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
環境基準(大気質)の達成率	NO ₂ 100% (2012年度)	100% (2019年度)	100% (2024年度)	A (3)	★★★ (2.8)
環境基準(有害大気汚染物質)の達成率	ベンゼン 100% (2012年度)	100% (2019年度)	100% (2024年度)	A (3)	
環境基準(自動車騒音)の達成率	95.3% (2012年度)	96.3% (2019年度)	100% (2024年度)	B (2)	
環境基準(ダイオキシン類)の達成率	100% (2012年度)	100% (2019年度)	100% (2024年度)	A (3)	

各指標の平均点は
(3+3+2+3)/4
=2.8点となる

第1節 快適で良好な生活環境のまちづくり

○第1項 黄砂・PM2.5 などの大気汚染物質への対応

- ・黄砂・PM2.5 対策の推進
- ・黄砂・大気汚染物質予測、警報システムの運用
- ・大気汚染物質発生源対策の推進
- ・大気汚染に関する調査・研究



○第2項 良好な生活環境の保全

- ・大気汚染物質発生源対策の推進
- ・監視体制の拡充
- ・アスベスト対策
- ・有害大気汚染物質対策
- ・騒音・振動対策
- ・有害化学物質に関する調査研究と情報提供の充実



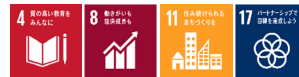
○第3項 気候変動への適応

- ・浸水対策等の推進
- ・渇水対策の推進
- ・森林病虫害等の被害対策の推進
- ・ヒートアイランド対策の推進
- ・熱中症対策の推進



○第4項 歴史・景観を活かした美しいまちの実現

- ・歴史的文化を活かしたまちづくり
- ・モラル・マナーの向上



黄砂・PM2.5対策

黄砂・PM2.5による市民生活や健康への影響を未然に防止するため、予測情報の提供や出前講座等による啓発を実施

○黄砂・PM2.5予測情報の発信

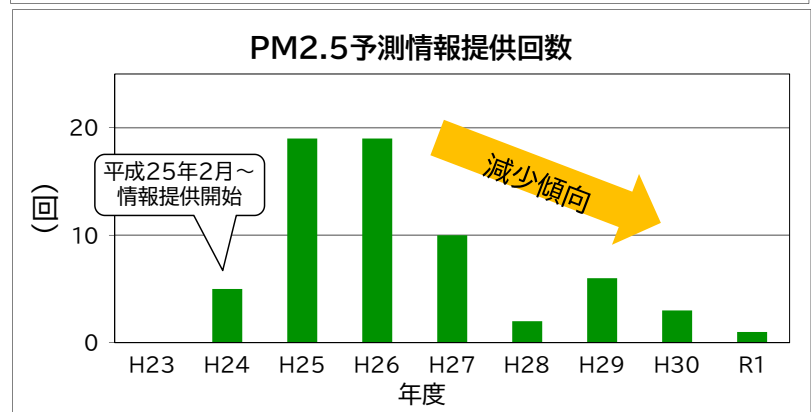
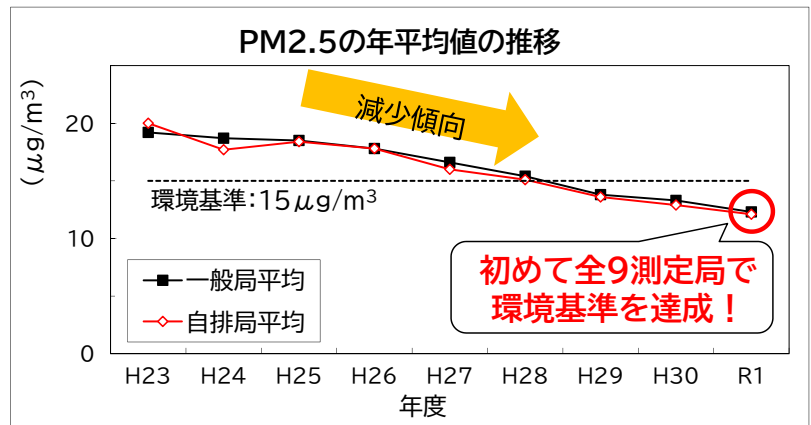
- 予測情報をLINE、防災メール等で発信
 - ・黄砂予測情報（17回提供）
 - ・PM2.5予測情報（1回提供）
 - ・PM2.5ダイヤル（着信件数15,138件）

○花粉予測情報の提供

花粉の予測情報を、黄砂・PM2.5と一元化して市ホームページに掲載（スギ・ヒノキの飛散時期）

○普及・啓発

- ・出前講座（実施回数：3回、参加者：107人）
- ・市政だより（令和2年3月1日号）
- ・市ホームページ など



成果指標の達成状況

○第1項 黄砂・PM2.5などの大気汚染物質への対応

成果指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
PM2.5の 予測精度	見逃し率 48.1% (2013年度)	100.0% (2019年度)	30%以下 (2024年度)	C (1)	★★ (特記事項)
	【参考】 通算見逃し率	24.4% (2013年12月 ~2019年度)			
【特記事項】 2019年度は、予測情報の提供が必要な高濃度日が1日のみで、当該日の予測が外れたものの、2013年12月の予測手法の見直し以降、 通算の見逃し率は、24.4%と目標を達成 している。また、PM2.5濃度は年々減少し、2019年度は初めて全局で環境基準を達成したことから、概ね順調に進捗しているものと評価する。					



大気環境

大気汚染防止法に基づき、市内16か所に測定局を設置し、大気汚染物質等の常時監視を実施。測定結果（1時間値）はリアルタイムでホームページに公表。

<大気環境基準達成状況> ○:達成 x:非達成

測定局	二酸化硫黄	二酸化窒素	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	光化学オキシダント
一般環境大気測定局（8局）						
香椎		○		○	○	x
東		○		○		x
吉塚	○	○		○	○	x
市役所	○	○		○	○	x
南		○		○		x
長尾		○		○	○	x
祖原	○	○		○		x
元岡		○		○	○	x
自動車排出ガス測定局（8局）						
千鳥橋		○		○	○	
比恵		○		○		
天神	○	○	○	○		
大橋		○		○	○	
別府橋		○		○		
西新		○		○	○	
石丸		○		○	○	x
今宿		○		○		



<光化学オキシダント注意報発令状況>

5月23日：福岡市東部, 中部

5月24日：市内全域

※大陸からの大気汚染物質の移流による濃度上昇

アスベスト対策

副市長をトップとした「アスベスト対策調整部会」を設置し、「アスベスト対策推進プラン（第二次）」（平成30年3月策定）に基づき、関係部局が一丸となって施策を実施。

○ 特定粉じん(アスベスト)排出等作業実施届出・立入調査状況

- ・届出書の審査，立入調査及び濃度測定の実施
 - ・適切な飛散防止措置の実施を確認
- 特定粉じん排出等作業実施届出件数：138件
立入調査件数：106件
排出作業時の測定件数：101件

○ 一般環境測定の実施

- ・大気中のアスベスト濃度について調査を実施
- 調査の結果，0.15～0.41本/L（総繊維濃度）と健康影響はないとされる値であった。

アスベスト対策推進プラン(第二次)

①建築物のアスベスト除去推進

- ・市有建築物のアスベスト除去推進等
- ・民間建築物の使用実態調査
- ・補助制度の活用及び拡充

②解体工事からのアスベスト飛散防止

- ・解体等工事の届出漏れ防止
- ・工事の監視指導／廃棄物の適正処理

③情報の一元化，市民への情報発信

- ・一般環境大気中のアスベスト濃度測定
- ・非飛散性アスベストの調査・研究
- ・市民への情報発信／市民相談への対応

④災害時のアスベスト飛散・ばく露防止

- ・建築物の損壊，解体等に伴う飛散防止
- ・廃棄物の処理に伴う飛散防止
- ・市民への情報発信

成果指標の達成状況

○第2項 良好な生活環境の保全

成果指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
環境基準（大気質）の達成率	NO ₂ 100% (2012年度)	100% (2019年度)	100% (2024年度)	A (3)	★★★★ (2.8)
環境基準（有害大気汚染物質）の達成率	ベンゼン 100% (2012年度)	100% (2019年度)	100% (2024年度)	A (3)	
環境基準（自動車騒音）の達成率	95.3% (2012年度)	96.3% (2019年度)	100% (2024年度)	B (2)	
環境基準（ダイオキシン類）の達成率	100% (2012年度)	100% (2019年度)	100% (2024年度)	A (3)	



気候変動への適応

気候変動による自然環境への影響や、健康や生活など人間社会への影響を回避・軽減するため、自然や社会のあり方を調整する適応の取組みを推進

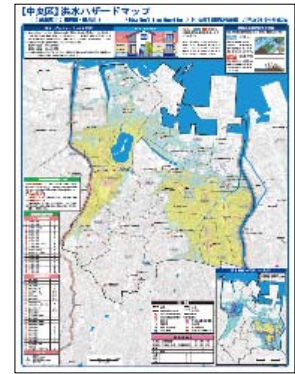
【自然災害に関する対策】

○洪水・高潮・土砂災害ハザードマップの提供

- ・想定しうる最大規模の降雨による洪水ハザードマップの作成
- ・区役所の窓口等におけるハザードマップの提供
- ・インターネットによる総合ハザードマップの配信

○浸水対策事業

- ・雨水整備Doプラン2026の推進
- ・雨水整備レインボープラン天神：第2期事業の推進



洪水ハザードマップ(中央区)

【健康被害に関する対策】

○緑のカーテンプロジェクト

- ・市有施設：219施設
- ・コンテスト応募：111件

○クールシェアふくおか

- ・登録スポット数：300施設（公共236施設，民間64施設）

○暮らし安心・適応リノベーション促進事業

- ・複層ガラス等への改修効果が分かるパネル展開催
- ・市民モニターと協力した広報活動
- ・住宅窓改修の手引きの作成



住宅窓改修の手引き

熱中症対策

熱中症対策を総合的に推進し、市民の健康被害を防止するため、副市長をトップとした福岡市熱中症対策推進本部を設置し、全庁一丸となって熱中症の予防に向けた啓発・注意喚起を実施。

○暑さ指数の情報提供

- ・ホームページ，LINE，防災メール等を活用し，暑さ指数の予測情報を提供。

○「熱中症予防の手引き」(※1)の全戸配布 **新規**

- ・市政だよりを活用し，市内全戸に配布（7/15号：約85万部）

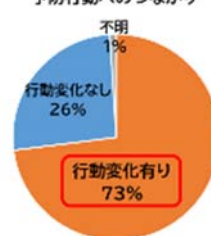
○「温度計付き熱中症予防カード(保存版)」(※2)等を活用した **新規** 高齢者見守り支援事業

- ・社会福祉協議会が実施する校区ボランティアによる見守り活動の中で，高齢者へ予防カード等を配布するとともに直接声かけを行い，自発的な熱中症予防行動につなげた(※3)。
- 実施校区：96校区，見守り対象者：27,901名
ボランティア：7,315名

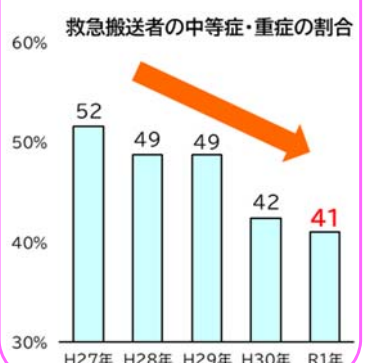
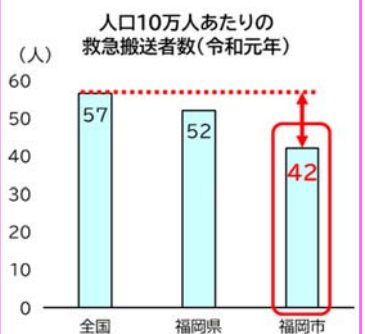
※1 熱中症予防の手引き(保存版)

※2 温度計付き熱中症予防カード

※3 ボランティアへのアンケート結果



福岡市における熱中症対策の成果



第2節 市民がふれあう自然共生のまちづくり

○第1項 生き物や自然環境の保全・再生と自然のネットワークの形成

- ・博多湾の保全
- ・みどりの保全・創出
- ・市街地における緑や水の生態系ネットワークの形成
- ・自然環境調査



○第2項 自然からの恵みの持続的利用の促進

- ・快適な都市環境の維持・向上の推進
- ・生物多様性の恵みを活かした災害につよいまちづくり
- ・生物多様性の恵みを活かしたふれあいの機会の創出
- ・生物多様性の恵みを活かした農水産物の積極的な活用
- ・生物多様性に支えられる文化の継承



○第3項 生物多様性の認識の社会への浸透

- ・市民への生物多様性の認識の理解促進
- ・多様な主体参画の促進，支援
- ・国内外の交流の推進，情報ネットワークの構築

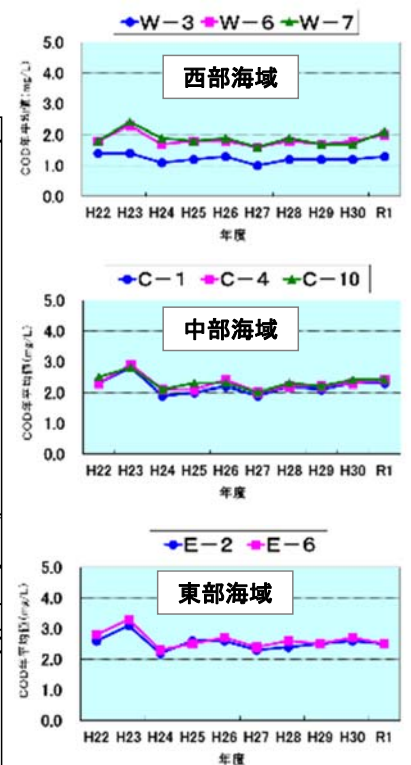
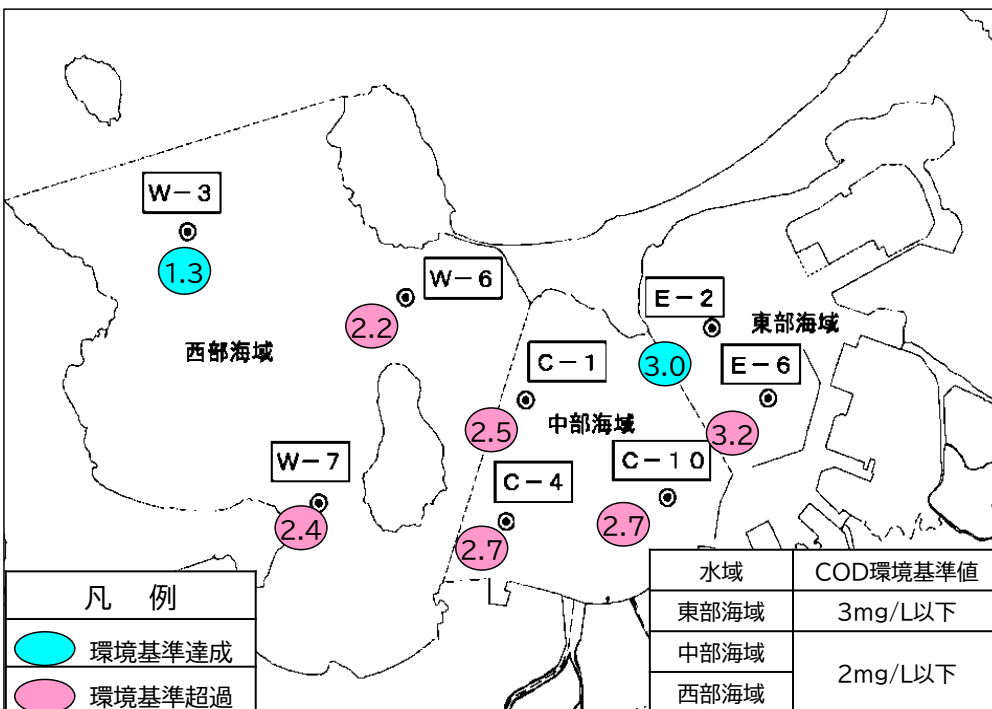


博多湾の保全

「第二次博多湾環境保全計画」の着実な推進を図るため、計画的なモニタリングを行い、定期的な点検・評価等を実施。

○ COD環境基準達成状況(令和元年度)

- ・令和元年度は、2地点が環境基準を達成。
- ・長期的には減少傾向を示しており、この10年間では概ね横ばい傾向。

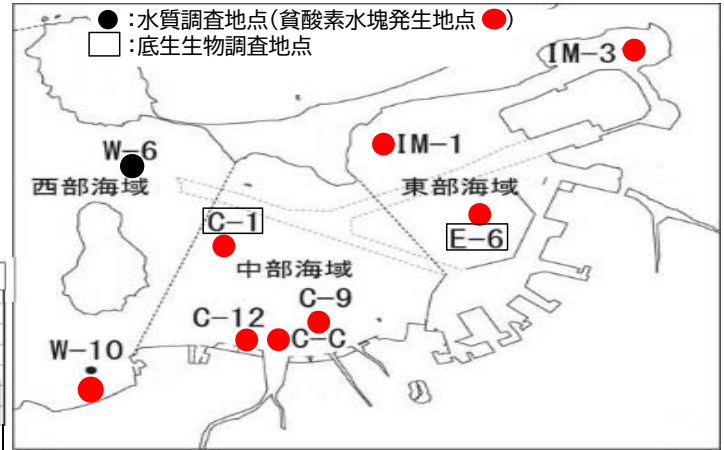


COD年平均値の推移

博多湾の保全

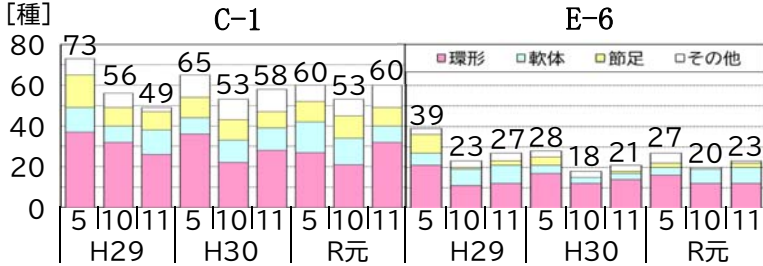
○貧酸素水塊発生状況

調査期間：5月～10月（月1～2回）
 令和元年度は、**9地点中8地点にて**
 貧酸素状態（海底上0.1mでの溶存酸素量
 3.6mg/L以下）を確認。



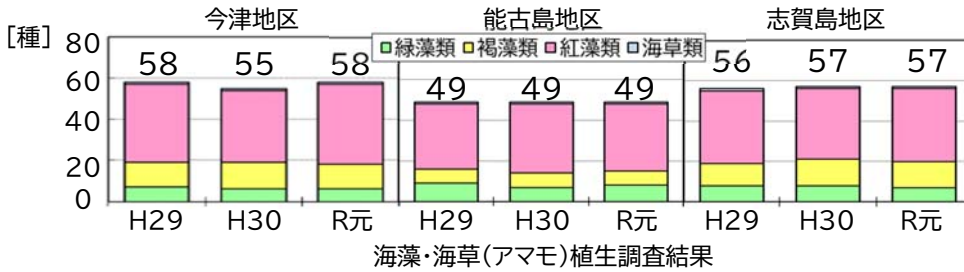
水質調査地点

○底生生物の生息状況



○海藻・海草(アマモ)植生調査

調査期間：5月～翌年2月
 いずれの場所においても大きな変化はみられなかった。



海藻・海草(アマモ)植生調査地点

成果指標の達成状況

○第1項 生き物や自然環境の保全・再生と自然のネットワークの形成

成果指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
全市域における 緑被面積	18,864 ha (2007年度)	18,921 ha (2017年度)	現状維持 (2020年度※)	A (3)	★★ (2.2)
農地面積 (農業振興地域の 農用地区域内)	1,559ha (2014年度)	1,553 ha (2019年度)	現状維持 (2023年度※)	B (2)	
森林面積	11,054ha (2010年度)	10,959 ha (2015年度)	現状維持 (2024年度)	B (2)	
環境基準（博多 湾）の達成率	COD 62.5% (2012年度)	25% (2019年度)	100% (2024年度)	C (1)	
環境基準（河川 水質）の達成率	BOD 100% (2012年度)	100% (2019年度)	100% (2024年度)	A (3)	
カブトガニの 卵塊・幼生数	卵塊：12 幼生：63個体 (2012年度)	卵塊：18 幼生：23個体 (2019年度)	現状維持 (2024年度)	B (2)	

※基本計画の目標年度が2024(R6)年度であるため、本成果指標については、目標年度以降に指標項目及び目標値の再設定を検討する。



生物多様性の認識の社会への浸透

「生物多様性ふくおか戦略」に基づき、身近な自然の恵みの持続的な利用と保全の好循環を生み出すための取組みを推進。

○森の恵み体験活動

新規

様々な機能を持つ森について、市民の関心を高め、森の恵みを発見できる体験活動を実施
 実施場所：曲渕水源かん養林
 油山市民の森

森のワークショップ開催数：6回
 交流会等実施回数：2回



森のワークショップ(左:間伐体験, 右:シイタケ採取体験)

○NPO等交流支援事業

環境保全活動を高めあうネットワークを構築するため、NPO団体や大学、民間企業、行政機関などが交流する活動を実施

環境連絡交流会開催数：1回
 ふくおか環境活動発表会開催数：1回
 トークカフェ開催数：3回



トーク・カフェ

ふくおか環境連絡交流会

成果指標の達成状況

○第3項 生物多様性の認識の社会への浸透

成果指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
生物多様性を理解し、その保全を意識して行動している市民の割合	14.7% (2012年度)	16.2% (2019年度)	35.0% (2024年度)	B (2)	★★ (2)



第3節 資源を活かす循環のまちづくり

○第1項 廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進

- ・様々な媒体等を活用した情報発信
- ・環境教育・学習機会の提供
- ・家庭におけるリサイクルの促進
- ・事業系古紙回収の推進
- ・一般廃棄物排出事業者に対する減量化指導の徹底
- ・ごみ減量・リサイクルの推進に向けた基金の活用



○第2項 廃棄物の適正処理の推進

- ・収集運搬の区分及び体制
- ・びん・ペットボトルの再資源化
- ・資源物の持ち去り防止対策
- ・広域連携
- ・産業廃棄物排出事業者の監視・指導
- ・不法投棄対策



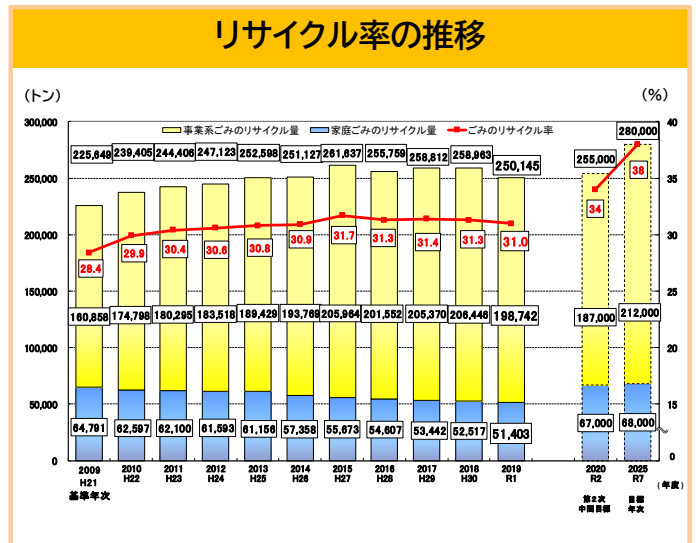
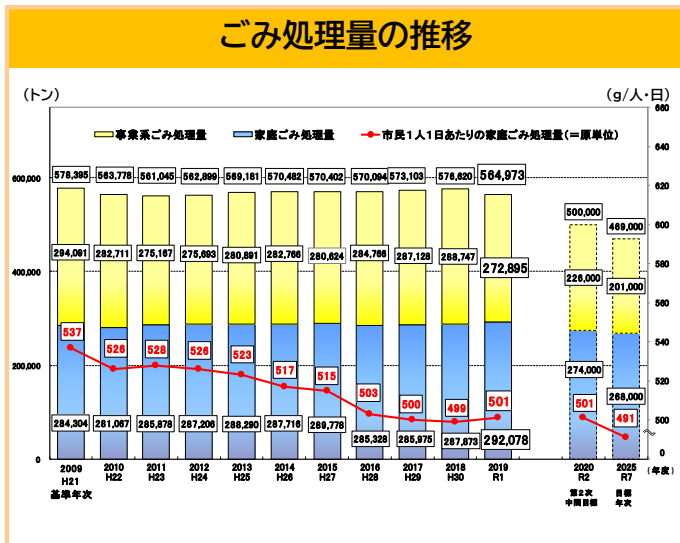
○第3項 水資源の有効利用の促進

- ・節水意識の高揚
- ・水の有効利用
- ・下水処理水や雨水等の有効利用
- ・エネルギーの有効利用
- ・水源地域・流域との連携・協力



ごみ処理量とリサイクル率

市民や事業者のごみ減量をはじめとする3Rの取組みにより、市民1人1日あたりの家庭ごみ処理量（原単位）は基準年次と比較して36g減少している。一方で、新循環のまち・ふくおか基本計画の予測を上回る人口の増加や入込観光客数の増加により、ごみ処理量は、ほぼ横ばい程度で推移している。



○令和元年度のごみ処理量の合計は、**約56万5千トン**で、基準年次（平成21年度）と比較して、約1万3千トン減少。

○令和元年度のリサイクル率は**31.0%**で、基準年次（平成21年度）と比較して、2.6ポイント増加。

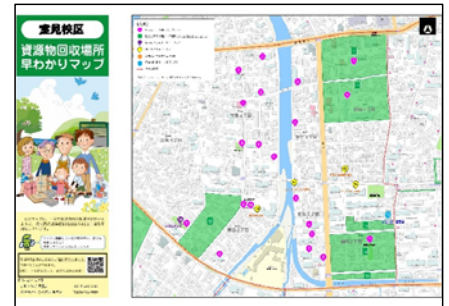
家庭ごみの減量・リサイクルに向けた取組み

家庭でのごみ減量・リサイクルを推進するため、古紙等資源物回収の強化を図るほか、プラスチックごみ対策や、食品ロスの削減に向けた広報・啓発を推進。また、ごみの適正分別・排出を周知するため、様々な媒体を活用した広報を実施。

○雑がみリサイクル促進(地域集団回収等報奨制度)

新規 **拡充**

- ・校区ごとの「資源物回収場所早わかりマップ」を作成し、回収情報をわかりやすく提供
- ・市内全域の情報は「福岡市Webまっぷ」でも検索可能



資源物回収場所早わかりマップ

○プラスチックごみ対策(ラブアース, 3R推進事業)

新規

- ・ラブアース・クリーンアップ2019で海洋プラスチックごみ問題の啓発実施



ラブアース会場での削減宣言

○食品ロス削減(3R推進事業)

新規 **拡充**

- ・「Fukuokaいーとプロジェクト」の展開
- ・啓発動画の制作、配信
- ・キャンペーン等参加人数：1,497人



案内ポスター, QRコード

○外国人へのごみ出しルール案内(ごみ減量広報・啓発活動)

新規

- ・1つのQRコードを読み取ると、10種類の言語でごみ出しルールを案内するサービス開始



事業系ごみの減量・リサイクルに向けた取組み

事業所から出るごみの発生抑制、再使用に重点をおいたごみ減量を推進するため、古紙の資源化や食品廃棄物の減量など、さらなるごみ減量・リサイクルの取組みを推進。

○事業系ごみの古紙分別区分追加に伴う周知・啓発

新規 **拡充**

- ・令和2年10月からの分別ルールの変更について、制度の円滑な導入に向けて、市内7万全事業所に対して、周知・啓発を丁寧に実施。
 - ①古紙分別リーフレット第1号を発送：65,355件（11月）
 - ②古紙分別リーフレット第2号を発送：64,894件（2月）
 - ③特定事業用建築物など立入検査等の実施：696件
 - ④出前講座の実施：9回343人



リーフレット1号



リーフレット2号

○食品廃棄物の減量の推進

新規 **拡充**

- ・飲食店等での食べ残し削減を推進する「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」を実施
エコ運動協力店登録数：483店
- ・フードバンク福岡と共働し、フードバンク活動を周知啓発
フードバンク活用ガイドブック作成
ガイドブックを用いた説明会実施（R2.2.5）



福岡エコ運動ポスター



フードバンク活用ガイドブック

成果指標の達成状況

○第1項 廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用の推進

成果指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
ごみ処理量	56.3万 t (2012年度)	56.5万t (2019年度)	47万 t (2024年度)	C (1)	★★ (1.5)
ごみのリサイクル率	30.6% (2012年度)	31.0% (2019年度)	37% (2024年度)	B (2)	



清掃工場・最終処分場

○清掃工場・最終処分場におけるごみ処理状況

□ 清掃工場



令和元年度は、4つの清掃工場で市内の可燃ごみ約52.4万トン进行焼却処理。また、焼却の余熱を利用し発電。

令和元年度発電量：約2億7,200万kWh
(一般家庭約7万1千世帯分の年間使用量に相当)

CO₂ 排出削減効果：約9万4千トン

□ 最終処分場



令和元年度は、東西2つの埋立場で不燃ごみや焼却灰など約10.7万トン进行最終処分。

埋立場	西部(中田)	東部(伏谷)	合計
埋立容量	238万トン	510万トン	748万トン
総埋立量	101万トン (42%)	326万3千トン (64%)	427万3千トン (57%)

総残余容量：約321万7千トン

(令和2年3月末時点)

不法投棄対策

不法投棄の防止に向けて、パトロールやカメラによる監視を行うとともに、地域活動支援や街頭啓発キャンペーン等を実施。

○パトロールやカメラによる監視

- ・不法投棄重点監視地域（24か所）
- ・市職員による夜間パトロール：100回/年
- ・委託業者によるパトロール：203回/年
- ・監視カメラ設置：50か所 85台



監視パトロール・監視カメラ



不法投棄物

○地域活動支援, 市民の啓発等

- ・地域の不法投棄防止活動に対する支援 15団体（16校区）に、月額2万円を助成
- ・ポスターや警告看板等の作成，設置
- ・12月「福岡市不法投棄防止強化月間」広報啓発や街頭キャンペーンを実施



街頭啓発キャンペーン



地域パトロール・回収活動

成果指標の達成状況

○第2項 廃棄物の適正処理の推進

成果指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
不法投棄処理量	87 t (2012年度)	23t (2019年度)	39 t (2024年度)	A (3)	★★★ (3)



第4節 未来につなぐ低炭素のまちづくり

○第1項 省エネルギーの促進

- ・市民・事業者の省エネ行動の支援
- ・低炭素社会の構築に向けた情報提供等
- ・市有施設等における省エネの推進
- ・事業所省エネ技術導入サポート事業（ソフトESCO事業）等の利用促進
- ・エネルギーの効率が良くクリーンな次世代自動車の普及促進



○第2項 再生可能エネルギーやエネルギーマネジメントシステムなどの導入・活用

- ・市有財産等を活用した再生可能エネルギーの率先導入
- ・市民や事業者による再生可能エネルギー等の導入促進



○第3項 低炭素型の都市構造及び交通体系の構築

- ・公共交通幹線軸の強化
- ・公共交通の利便性向上と利用促進
- ・道路交通の円滑化
- ・自転車で移動しやすい交通環境づくり



省エネルギーの促進

エネルギー消費効率に優れた機器，電気自動車等の導入等を促進するとともに，市民・事業者の省エネ行動を支援することにより，環境負荷の少ないライフスタイルやビジネススタイルへの転換を促進

【市民の省エネ行動支援】

○ECOチャレンジ応援事業

- ・交通系ICカードポイント付与：1,065世帯参加（360,300ポイント付与）

○次世代自動車普及促進事業

拡充

- ・電気自動車等購入助成：120台
- ・普通充電設備設置助成：1基
- ・次世代自動車展示，試乗会の開催（6/23, 10/26～27）

○住宅用エネルギーシステム導入促進事業

- ・システム設置経費の一部を助成（太陽光発電，家庭用燃料電池，HEMS，蓄電池）
補助実績：984件



次世代自動車展示・試乗会

【事業者の省エネ行動支援】

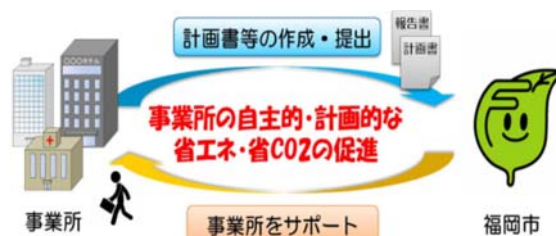
○事業所省エネ計画書制度

- ・事業所における省エネ・省CO2を促進する制度
2019年度新規参加事業所数：14件（累計34件）

【福岡市役所における取組み】

○市有施設へのLED照明の導入

- ・道路照明などのLED化：763基
- ・地下鉄駅照明のLED化：2駅（19駅中15駅完了）

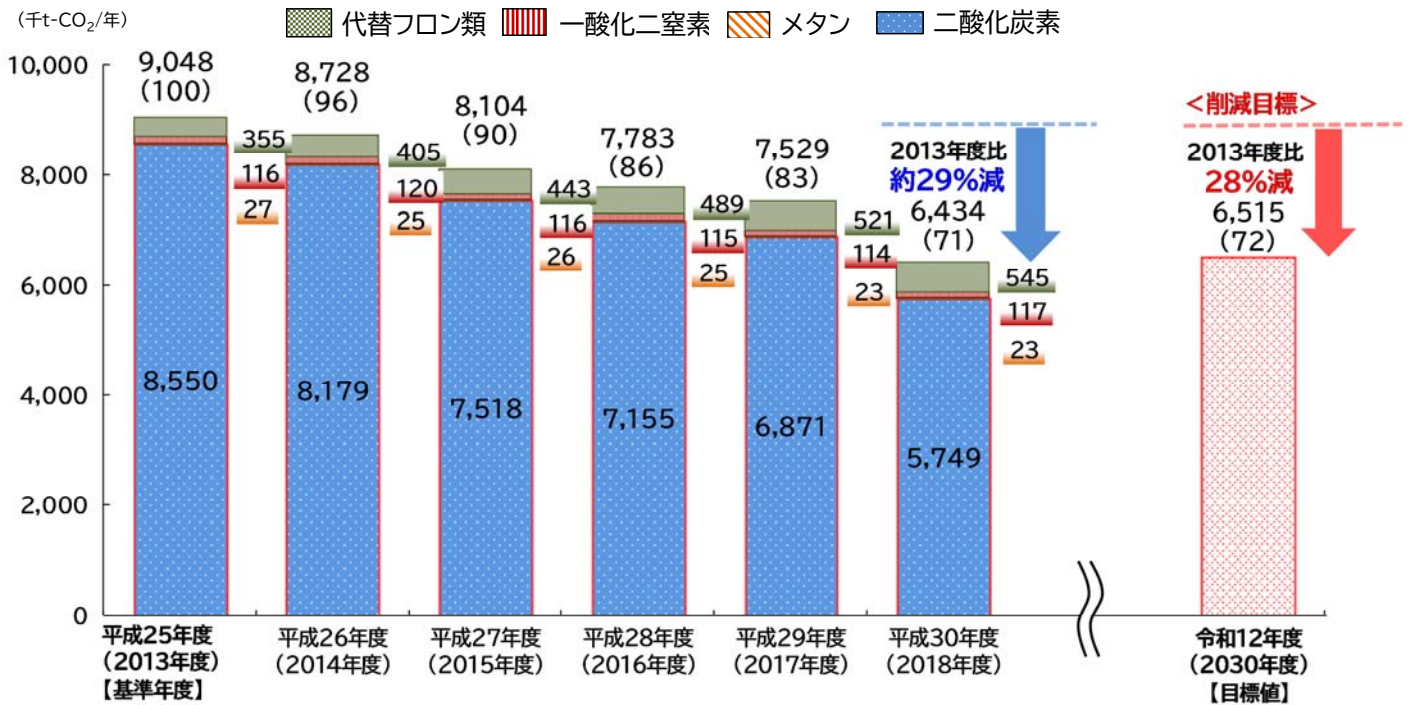


事業所省エネ計画書制度

温室効果ガス排出量の推移

福岡市における2018年度の温室効果ガス排出量は6,434千t-CO₂であり、「福岡市地球温暖化対策実行計画」の基準年度である平成25年度と比べ29%減少となり、令和12年度の削減目標である28%を既に上回っている。

○温室効果ガス別排出量推移



成果指標の達成状況

○第1項 省エネルギーの促進

成果指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
家庭部門における1世帯あたりのエネルギー消費量	30.1キガジュール (2006～2010年度平均)	21.0キガジュール (2018年度)	22.1キガジュール (2024年度)	A (3)	★★★ (3)
業務部門における延床面積1㎡あたりのエネルギー消費量	1.08キガジュール (2006～2010年度平均)	0.78キガジュール (2018年度)	0.88キガジュール (2024年度)	A (3)	



再生可能エネルギー導入の取組み

【市有施設への再生可能エネルギーの導入】

令和元年度は、蒲田第2メガソーラー発電所、照葉北小学校、志賀公民館、田村公民館の4施設に設置し、令和元年度末現在、202施設に、合計約9.2万kW導入。

※()内は前年度比

種別		施設数	発電出力(kW)	備考
太陽光発電	メガソーラー	6 (+1)	6,519 (+1,199)	・大原メガソーラー発電所 ・蒲田メガソーラー発電所 ・青果市場太陽光発電所 ・西部水処理センター太陽光発電所 ・新西部水処理センター太陽光発電所 ・蒲田第2メガソーラー発電所
	その他	187 (+3)	2,474 (+56)	公民館, 小中学校等
バイオマス発電	廃棄物発電	4	80,900	清掃工場 [東部, 西部, 臨海, 福岡都市圏南部]
	その他	2	1,695	水処理センター[中部, 和白]
小水力発電		3	222	・浄水場[瑞梅寺, 乙金] ・曲淵ダム
合計		202 (+4)	91,810 (+1,254)	※屋根貸し等による事業者設置を含む ※数値は小数点以下を四捨五入端数処理

【民間施設における再生可能エネルギーの導入】

○住宅用エネルギーシステム導入促進事業

- ・システム設置経費の一部を助成（太陽光発電、家庭用燃料電池、HEMS、蓄電池）
- 補助実績：984件

成果指標の達成状況

○第2項 再生可能エネルギーやエネルギーマネジメントシステムなどの導入・活用

成果指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
再生可能エネルギーの 設備導入量	11万1千kW (2012年度)	22万3千kW (2019年度)	30万kW (2024年度)	A (3)	★★★★ (3)



ゼロカーボンシティの表明 ～低炭素から脱炭素へ～

福岡市は、気候変動の影響による災害が頻発化・激甚化する中、市民の安全・安心を守り、気候に育まれた生活や文化を未来に継承していくため、また、都市の新たな成長機会につなげていくため、環境省の呼びかけに応え、令和2年度に向けた取組みにあたって、2040年度温室効果ガス排出実質ゼロをめざし、脱炭素社会の実現にチャレンジすることを表明しました。

分野横断型施策

◆第1節 環境の保全・創造に向けた人づくり・地域づくり

○第1項 環境行動を担う人材の育成

- ・地域におけるリーダーの育成
- ・あらゆる年代に対する環境教育・学習

○第2項 地域環境力の向上

- ・環境に関する多様な人材の把握とそのネットワーク化
- ・活動のネットワークづくり



◆第2節 環境の保全・創造に向けたしくみづくり

○第1項 環境配慮のための手続きや規制等の整備・運用

- ・環境影響評価の推進
- ・福岡市環境配慮指針の適切な運用

○第2項 市民・事業者の自主的な活動等に対する支援

- ・表彰・助成

○第3項 環境情報の継続的な収集・発信と共有



◆第3節 ふくおか から 九州・アジアへ

○第1項 近隣地域や九州・国内各地域との連携

- ・福岡都市圏の市町との環境協力の推進

○第2項 国際環境協力の推進

- ・海外からの研修生等の受け入れ
- ・国際機関との連携による技術協力
- ・アジアの環境改善に向け市民・事業者・行政が連携した取組みの推進



環境行動を担う人材の育成

環境活動の担い手である市民団体・学校・事業者等あらゆる主体や年代に対する環境教育や学習を推進。

○環境わくわく出前授業

新規

拡充

・講師派遣事業

環境の専門的知識や経験を備えた「環境教育・学習人材リスト」登録者を講師とし、学校等での出前授業を実施。また、学習内容をわかりやすくまとめた「環境学習プログラム集」を作成・配布。
実施校数：23校

・指導者向け講座

幼稚園や保育園の職員を対象に、環境教育について学習する「事前研修」と「実践講座」や、小中学校の教員を対象に身近なフィールドで環境教育について学習する「研修会」を実施。
出前講座実施回数：25回（参加教員数：240人，参加園児数：1,126人）
研修会実施回数：2回（参加教員数：18人）



環境学習プログラム集

○環境フェスティバルふくおか2019

「私たちの未来に、今できることってなんだろう。」をテーマに、市民一人ひとりの環境保全活動・行動を促進し、環境への負荷が小さいライフスタイルへの転換を図ることを目的として実施。
開催日：令和元年10月26日（土）、27日（日）
参加団体数：55団体，出展数：47ブース



環境フェスティバルふくおか2019

成果指標の達成状況

○第1項 環境行動を担う人材の育成

成果指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
環境教育・学習 人材リスト登録者数	44人 (2013年度)	54人 (2019年度)	80人 (2024年度)	B (2)	★★ (2)



市民・事業者の自主的な活動等に対する支援

市民・事業者の自主的な環境配慮を促進するため、環境保全に貢献した主体の表彰や環境活動への助成を実施。

○福岡市環境行動賞

- ・本市の環境保全へ顕著な貢献があった個人・団体・学校・事業者を表彰 ※表彰式は隔年開催
 - ・令和元年度は第10回表彰対象者の募集を実施。
 - ・募集にあたり、募集チラシの見直しや、学校・事業者への専用チラシの配布など、応募者増に努めた。
- 令和元年度応募件数：90件（前回83件）



第10回募集チラシ

○エコ発する事業

市民団体やNPO法人などが主体的に行う環境活動（ごみ減量・リサイクル、環境学習・啓発、環境保全、環境美化等）の支援やネットワークづくりを促進。

令和元年度補助団体数：9団体（前回8団体）



油山川で生きもの探し

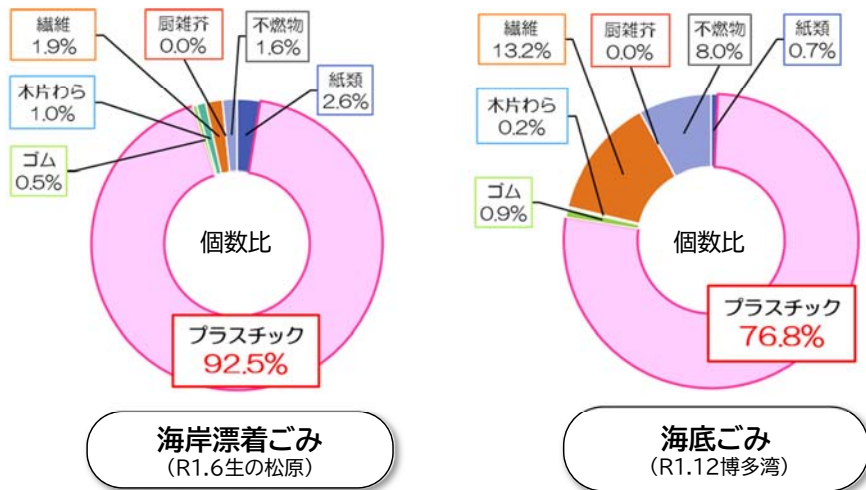
環境情報の継続的な収集・発信と共有

保健環境研究所ではその専門性を活かし、行政ニーズをふまえて、PM2.5や博多湾、廃棄物、食中毒、感染症など様々な分野の試験・研究を実施。

国際的にプラスチックごみによる海洋汚染が問題となる中、令和元年度は研究の一つとして博多湾の海ごみについての調査を実施。

○博多湾の海ごみに関する調査研究

- ・博多湾の海岸漂着ごみや海底ごみの組成を調査し、個数比で7～9割がプラスチックごみであることが判明
- ・プラスチックごみ削減施策（市民啓発等）にデータを活用
- ・保健環境学習室「まもる一む福岡」での情報発信



※流木などの自然ごみは除いて集計



まもる一む福岡 展示パネル

国際環境協力の推進

ミャンマー・ヤンゴン市における「福岡方式」埋立場整備に係る技術協力をはじめ、アジア・太平洋地域を中心とした環境分野における国際協力を展開。

○ヤンゴン市ごみ埋立場の「福岡方式」整備事業 **拡充** (国連ハビタットとの共同事業)

火災防止対策、既存埋立場の改善及び新規埋立場の設計・整備等

- ・事業期間：2019年度～
- ・総事業費：約6億円



福岡市地場企業によるごみ搬入・埋立指導

○海外への専門家派遣

令和元年度：1ヶ国16名
累計：14ヶ国 159名

○廃棄物埋立技術「福岡方式」を学ぶ研修生の受入

令和元年度：エチオピア、ミャンマー等 8ヶ国 13名
累計：29ヶ国 187名



国内研修(丁張の設置)

○環境関連施設への視察・見学の受入

令和元年度：43ヶ国130名
累計：70ヶ国以上 5,906名

<参考> 環境局における「新型コロナウイルス感染症」への対応

○PCR検査

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、市内保健所からの依頼に基づき、保健環境研究所においてPCR検査を実施。

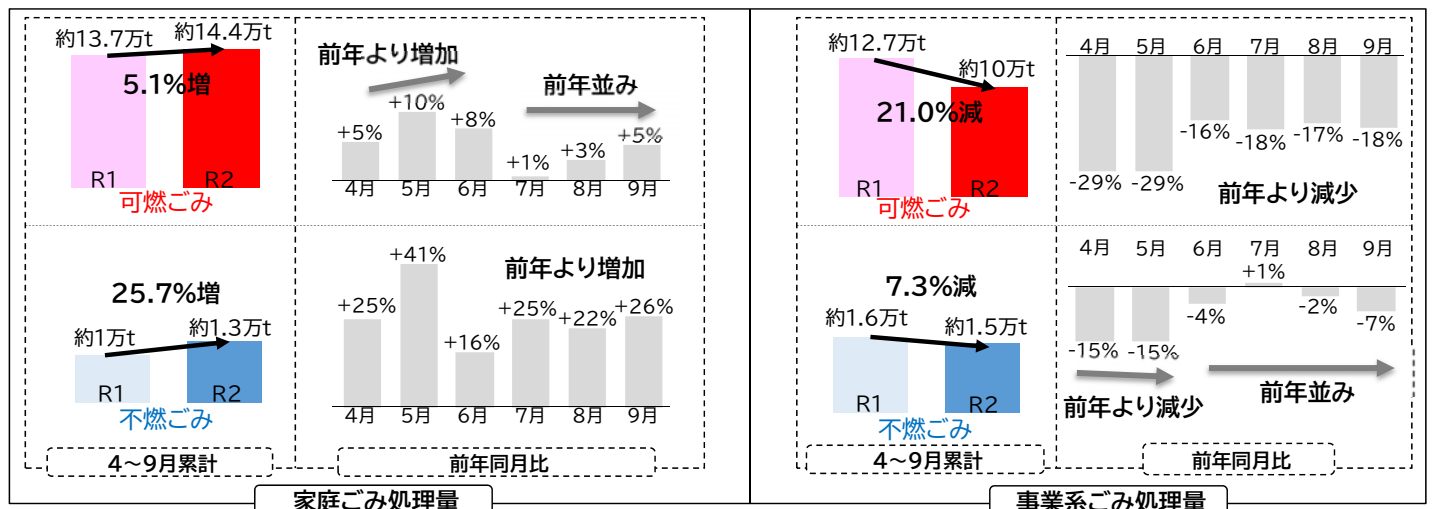


PCR検査 検体の処理

○ごみ収集業者の感染防止対策

ごみ収集業者が感染を予防しながら安定して業務を継続できるよう、情報提供等を実施。

- ・感染予防に関する環境省通知などの情報提供
- ・市に寄贈されたマスクの提供（約26,000枚）
- ・感染リスク低減のための家庭ごみの出し方の周知



○市民への広報・啓発

感染拡大防止のため、一部イベントや事業を中止したが、環境保全活動に関する市民意識向上のため、代替事業等を実施するとともに、Web講座の開催や啓発動画の配信など、新たな取組みを実施。

ごみ収集業務における感染リスク低減のため、ごみを出すときの注意事項について、HP等で呼びかけを行ったほか、「新しい生活様式」を意識したごみ減量・リサイクルの啓発を実施。

※中止した主なイベントと代替事業等

- ◇第10回環境行動賞表彰式
→市政だより等での受賞者紹介、HPへの活動紹介動画の掲載
- ◇ラブアース・クリーンアップ2020
→市政だより等での個人による清掃活動の呼びかけ、希望者へのごみ袋の配布
- ◇環境フェスティバル2020
→前年度の出展企業・協力団体との交流会の実施（予定）



環境活動団体のオンライン交流会



熱中症予防の啓発動画



市政だより 令和2年10月1日号 折り込み